

研究機関：広島大学

研究課題名	広島原爆被爆者における被爆線量の影響に関する検討
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所放射線分子疫学研究分野 教授 川上 秀史
研究期間	平成21年4月21日(倫理委員会承認後)～令和8年3月31日
対象者	原爆被爆者および昭和44年から昭和48年に広島市および近郊で両親のどちらかが被爆者で出生した二世被爆者(以下「原爆被爆者」という)で被曝線量の推定がなされている方のうち、広島県内在住で人口動態調査死亡小票が提出された方です。
意義・目的	被ばく資料調査解析部では被爆距離、被爆状況などから広島原爆被爆者の被曝線量を推定したデータベース(原爆被爆者マスターファイル)を保有しています。疾病に対する被曝線量の影響は多数例で評価し統計解析をしなければ明らかにできず、被爆者のデータベースを所有しているわれわれのみがなし得る重要な研究です。
方法	死亡小票を広島県、広島市、福山市および呉市の所轄保健所において転記します。この情報を転記データファイルとして電算化し、すでに作成済みの原爆被爆者マスターファイルの氏名、性別、生年月日および住所と照合して被爆者の同定作業を行います。同定されたものについて死亡年月日および死因を付与した死亡者ファイルを作成します。この死亡者ファイルと原爆被爆者マスターファイルをもとに被爆者人口データを作成します。これをもとに被曝線量別に死因毎の非被爆者に対する相対比を求め被曝の影響を評価します。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所放射線分子疫学研究分野 教授 川上 秀史
個人情報の保護について	原爆被爆者マスターファイルと死亡者ファイルを分離することで個人情報の保護を図ります。死亡者ファイルは被爆者登録番号を付し個人情報管理者によって匿名化されています。また個人情報の入力、記憶、解析は個人情報管理者および更新作業を行う者のみがアクセスできる大型コンピューターを用いて管理しており、この大型コンピューターは外部とは接続されていません。対応表は個人情報管理者のみが使用・管理します。 情報提供を望まない場合には申し出ていただけます。申し出によりいかなる不利益も生じることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5850 原爆放射線医科学研究所放射線分子疫学研究分野 職名 教授 川上 秀史